



2022年6月3日  
イオントップバリュ株式会社

## 包装資材重量カットで年間約22トンの使い捨てプラスチックを削減 トップバリュのあらびきポークウインナー 新包装形状へ

イオンは全国の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」等、グループ最大約7,000店舗※1にて販売中の「あらびきポークウインナー」4品目において、6月上旬から随時、内容量を減らさずに包装資材重量をカットし、プラスチックを削減した包装形状へ切り替えます。

今回、包装形状を変更するのは「トップバリュベストプライス あらびきポークウインナー」2品目と「トップバリュ あらびきポークウインナー」JAS特級」2品目の、計4品目です。

「トップバリュベストプライス あらびきポークウインナー」は、発売当初から慣れ親しんでいただいている巾着包装をピロー包装に変更し、資材重量を約28～29%削減します。また、従来からピロー包装を採用していた「トップバリュ あらびきポークウインナー」JAS特級」は、パッケージサイズを縮小することで、資材重量を約7～9%削減します。

これにより、トップバリュで販売する「あらびきポークウインナー」4品目で、年間約22トンの使い捨てプラスチック削減につながる見込みです。

### パッケージ変更の例



イオンは、2020年9月に「イオン プラスチック利用方針」を定め、「使い捨てプラスチックを減らす」「環境・社会に配慮した素材を使用する」などの視点で、これまでも環境配慮型商品の拡充を進めています。今後も店舗や商品、サービス等を通して、資源循環型の新たなライフスタイルをお客さまに提案してまいります。

### 【新パッケージ概要】

導入日：2022年6月上旬 トップバリュベストプライス あらびきポークウインナー  
2022年6月下旬 トップバリュ あらびきポークウインナー」JAS特級


展開店舗：全国の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」等、グループ最大約7,000店舗※1

品目数：4品目

※1：一部、取り扱いがない地域・店舗がございます。

※2：従来品から順次切り替えとなるため、導入日が店舗によって異なります。

【「トップバリュのあらびきポークウインナー」 一覧】

	<p>トップバリュベストプライス あらびきポークウインナー            本体 258円（税込278.64円<sup>※3</sup>）／100g × 2            味付けの塩には、ジューシーなお肉の旨みを引き出す五島灘の塩を使った、食べやすいあらびきタイプのウインナーです。</p> <p>◎従来品からの包装資材重量削減率 約28%（11.0g → 7.9g）</p>
	<p>トップバリュベストプライス あらびきポークウインナー            本体 130円（税込140.40円<sup>※3</sup>）／100g            味付けの塩には、ジューシーなお肉の旨みを引き出す五島灘の塩を使った、食べやすいあらびきタイプのウインナーです。</p> <p>◎従来品からの包装資材重量削減率 約29%（5.4g → 3.8g）</p>
	<p>トップバリュ あらびきポークウインナーJAS特級            本体 348円（税込375.84円<sup>※3</sup>）／260g            外はパリッ、中はジューシーで、食感としっかりした肉感にこだわった、はじけるおいしさのあらびきウインナーです。</p> <p>◎従来品からの包装資材重量削減率 9%（5.62g → 5.11g）</p>
	<p>トップバリュ あらびきポークウインナーJAS特級            本体 180円（税込194.40円<sup>※3</sup>）／130g            外はパリッ、中はジューシーで、食感としっかりした肉感にこだわった、はじけるおいしさのあらびきウインナーです。</p> <p>◎従来品（126g）からの包装資材重量削減率 7%（4.15g → 3.83g）</p>

※3：軽減税率（8%）の対象商品です。単品で購入した場合、税込価格は小数点以下が切り捨てになります。

【今だけ！10%増量パッケージを数量限定で発売】

2022年6月15日（水）より「トップバリュ あらびきポークウインナーJAS特級260g」を10%増量し、286g（260g + 26g）で販売します。

※トップバリュ あらびきポークウインナーJAS特級260g 取扱い店舗にて数量限定販売

※パッケージは従来品の包装サイズです



## ■イオン プラスチック利用方針

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組めます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めてまいります。

1. 事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組めます。

〈目標〉CO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、

- ◆2030年までに、使い捨てプラスチック使用量を2018年比で半減します。
- ◆2030年までに、全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
- ◆2030年までに、PB商品のPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換します。

2020年9月策定

## ■「トップバリュ」環境配慮型商品の一例

### バイオマス素材の使用



包装フィルムの一部にバイオマスを使用した商品

### ラベルレス飲料の展開



ラベルを省くことでプラスチックごみの削減につながる商品

### 本体に再生プラを使用



マイバッグ本体（取っ手部分を除く）にリサイクル原料を50%使用している商品

### 容器に再生プラを使用



飲料用ペットボトルをリサイクルしたメカニカルペット素材を容器本体に95%使用した商品

### パッケージの紙化



包材の一部を紙に置き換え、かつ計量スプーンをなくすことで、包材で使用するプラスチックを削減する商品

### 省資源・小型化



1ロールあたりの長さを従来より長くし、ロール数を減らし、包材で使用するプラスチックも削減する商品